

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

1年 p. 4～17、p.64～65

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
1 うたってうごいて みんなで おんがく (8時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○		
			思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。	○		
	(2) リズム、速度、旋律、強弱、拍、呼びかけとこたえ、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍、速度、旋律、リズム、強弱、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○		
(3) 歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、小学校生活の始まりを明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
1	曲想を感じながら楽しく歌ったり、音楽に合わせて体を動かすなどして歌ったりする。	ちょうちょう ほか	○見開きの挿絵を見て、どんな歌が隠されているか探し曲想を感じながら歌ったり、音楽に合わせて体を動かすなどして歌ったりする。	【主-①】 歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	それぞれの曲のよさや面白さを感じ取り、音楽に合わせて体を動かして、曲の楽しさを見いだす。	◎サンダーバード ほか ◎ゴーアンドストップ	○それぞれの音楽を注意深く、音楽に合わせて体を動かす。活動を通して曲想や強弱、速度の変化などにも気付き、どうして体の動きが変化したのかを交流する。	【思-①】 それぞれの音楽の、拍、速度、旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。
1	音楽に合わせて体を動かす活動に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	かもつれっしや	○汽車になったつもりで、拍や速度に合わせて体を動かしながら歌い遊ぶ。	【主-①】 歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
4	わらべうたを歌ったり、歌に合わせて体を動かしたりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しむとともに、設定した条件に基づいて、即興的に言葉を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	◆ひらいた ひらいた(共通教材)	○拍に合わせて動きながら歌ったり、歌詞に合った歌い方や遊び方を考えて歌ったりする。	【思-②】 「ひらいた ひらいた」の旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。
		◎わらべうた	○鑑賞音源を聴いて、「まなびリンク」を活用して曲の大まかな感じを捉え、歌詞や遊び方を知り、教え合って遊ぶ。 ○拍を感じ取りながら、言葉遊びをする。	【主-②】 わらべうたを歌ったり、歌に合わせて体などを動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 設定した条件に基づいて、即興的に言葉を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。
		◆かたつむり(共通教材)	○歌詞の表す情景や気持ちを想像し、付点のはずむリズムを感じながら、曲想に合った歌い方や身振りを考えて歌う。	【知-①】 「かたつむり」の曲想と、拍やリズムなど音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
2 はくとリズム (7時間扱い・6～7月)	(1) 曲想とリズムや拍など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせてリズム表現する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズムや拍など音楽の構造との関わりや、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 思いに合った表現をするために必要な、互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。				○
	(2) リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについての思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。	思考・判断・表現	リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについての思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。				○
	(3) 拍に合わせていろいろなリズムで表現することや歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムや拍などに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	拍に合わせていろいろなリズムで表現することや歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と、リズムやその反復との関わりについて気付くとともに、拍に合わせて表現する技能を身に付ける。	ぶん ぶん ぶん しろくまの ジェンカ ◎ジェンカ	○「たん」「うん」の手拍子や手合わせを取り入れながら、拍に合わせて「ぶん ぶん ぶん」を歌う。 ○ジェンカのリズムパターンを意識して、鑑賞曲「ジェンカ」を聴く。 ○鑑賞曲「ジェンカ」に合わせて、ジェンカのリズムパターンを打ったり、体の動きで表したりする。 ○「しろくまの ジェンカ」を、ジェンカのリズムパターンを打ったり、ステップをしたりしながら歌う。	【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの声や伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けている。 【知-①】 「ジェンカ」の曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりについて気付いている。 【主-①】 拍に合わせてリズムで表現することや歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	リズムの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	☆たん と たた のリズムで あそぼう	○「たん」と「うん」のリズム打ちでまねっこしながら音遊びをする。 ○「たん」と「うん」を組み合わせたリズムをつくる。 ○つくったリズムを友達とつなげて発表をする。 ○体のいろいろなところを打ってリズムを表現する。	【知-②】 身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 【思-①】 リズムや拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【技-②】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。
2	いろいろなリズムを表現したり歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	おさるの だいくさん	○「おさるの だいくさん」の面白いところや歌詞の様子を思い浮かべながら歌う。 ○「たん」と「たた」のリズムや自分でつくったリズムを打ちながら、拍にのって歌う。	【主-②】 拍に合わせて歌詞の様子を思い浮かべながら歌うことやいろいろなリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

1年 p.26～27

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈につぼんのうた みんなのうた〉 「うみ」(共通教材) (2時間扱い・7月)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○＝本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
3 どれみとなかよし (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音高を体などで表現する活動などを通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。	知識・技能 曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付いている。 音高を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。				○
	(2) 音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現 音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度 階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と音階などとの関わりに気付くとともに、階名で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎どれみのうた	○「どれみのうた」を歌いながら聴き、階名に親しむ。 ○「どれみのうた」を、音高に合わせて体を動かしながら聴く。	【主-①】 階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「どれみのうた」の曲想と、音階など音楽の構造との関わりに気付いている。
2	階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けるとともに、音階、旋律、変化などを聴き取り、曲想を感じ取って表現を工夫する。	どれみのキャンディー	○「どれみのキャンディー」の最後の部分に合わせて、〈どれみのたいそう〉をしながら歌う。 ○「どれみのキャンディー」に合った動きや歌い方を工夫して歌う。	【技-①】 音高を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。 【思-①】 「どれみのキャンディー」の音階、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

1年 p.32～39

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈こんにちは けんぱんハーモニカ〉 (4時間+毎時 9～10月)	(1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律、速度、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	(3) 鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○		

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

1年 p. 40～41

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
4 うたの もりあがり (2時間扱い・10月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と旋律や音階、歌詞との関わりに気付くとともに、曲想を感じ取って表現を工夫する。	◆ひのまる(共通教材)	○「ひのまる」を歌詞で歌う。 ○体を動かしながら階名唱する。 ○旋律のまとまりを感じ取って歌う。 ○盛り上がりを感じながら歌う。	【主-①】「ひのまる」の歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 「ひのまる」の旋律や音階などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【知-①】 「ひのまる」の曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

1年 p.42～45

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
5 ねいろとつよさ (7時間扱い・11～12月)	(1) 打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくらせる技能を身に付ける。	知識・技能	打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付いたりしている。			○	○
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくらせる技能を身に付けている。			○	
	(2) 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたりしている。			○	○
(3) 様々に試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な楽器の音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	様々に試しながら打楽器の音の特徴を見付ける学習などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	打楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いたり、音遊びを通して、音楽づくりの発想を得たりする。	☆いろいろな おとを みつけよう	○トライアングルで様々に試しながら音を出したり、様々な音の特徴を探したりして、お気に入りの音を見つける。 ○いろいろな楽器で様々に試しながら音を出したり、様々な音の特徴を探したりして、お気に入りの音を見つける。 ○お気に入りの音を使って、友達と音をつなげたり、音楽の簡単な終わりを考えたりする。	【思-①】 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 【知-①】 打楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。
4	音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けるとともに、音色や強弱など聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取ったり、曲や演奏の楽しさを見いだしたりして、曲全体を味わって聴く。	つよさに きをつけて がつきを うったり きよくを きいたりしよう ◎ぜんそうきよく	○打楽器で見つけたお気に入りの音を使って、呼びかけたりこたえたりする。 ○「ぜんそうきよく」を、強弱や打楽器の音色などに気を付けながら聴く。 ○「ぜんそうきよく」を聴いて、曲や演奏の面白いと思ったところや楽しいと思ったところを考えて、友達に伝えたり、言葉などで記述したりする。	【主-①】 打楽器の音色や演奏の仕方などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-②】 打楽器の音やそれらのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。 【技-②】 思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 【思-②】 音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。 【知-③】 曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付いている。 【思-③】 「ぜんそうきよく」の音色や強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

1年 p.46～49

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
6 うたでまねっこ (4時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。	○			
	(2) フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と呼びかけとこたえなどとの関わりに気付くとともに、聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	もりのくまさん	○「もりのくまさん」を、いろいろな強さを試しながら交互唱する。 ○1～5番それぞれの歌詞の内容を考えながら、どのように歌うか意見を出し合って試す。	【知-①】 「もりのくまさん」の曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 聴き合って歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けるとともに、交互唱の面白さを感じ取りながら表現を工夫する。	フルーツ ケーキ	○「フルーツ ケーキ」を、打楽器を加えて歌う。 ○歌う強さをまねたり、違う強さで歌ったりして交互唱する。	【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。 【思-①】 フレーズや呼びかけとこたえなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「フルーツ ケーキ」の曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

1年 p.50～51

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈おとの スケッチ〉 ねこの なきごえで あそぼう (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付いている。	○			
	発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。				○		
	(2) 音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	音色や強弱、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
(3) いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○	

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

1年 p.52～54

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
7 おんがくのながれ (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音楽が表している情景を想像して聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎おどる こねこ	○拍の流れや、鳴き声に合わせて体を動かしながら、「おどる こねこ」を聴く。 ○「おどる こねこ」の曲の進み方を知る。	【主-①】「おどる こねこ」の曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】「おどる こねこ」の曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。
1	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎おどる こねこ	○曲のよいところ、面白いところを見つけながら、「おどる こねこ」の曲全体を聴く。	【思-①】「おどる こねこ」の、旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈めざせ がっきめいじん〉 「すずめが ちゅん」 (毎時扱い)	(1) 曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。		○		
			思いに合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。			○	
(3) 楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○＝本評価規準における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
8 みんなのおんがく (2時間扱い・2～3月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりやリズムのつなげ方や重ね方の特徴に気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○		○	
	(2) 拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもつ。	思考・判断・表現	拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。		○		
(3) 歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、リズムを感じて表現したりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、リズムを感じて表現したりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けるとともに、曲想とリズムなどとの関わりに気付く。	おもちゃの チャチャチャ ☆リズムを かさねて あそぼう	○「おもちゃの チャチャチャ」を、曲の気分を感じ取り、歌詞の表す様子を考えながら、リズム打ちして歌う。 ○「おもちゃの チャチャチャ」を、互いの声や伴奏を聴いて歌う。 ○リズムを重ねて遊ぶ。	【知-①】「おもちゃの チャチャチャ」の曲想と、リズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】「おもちゃの チャチャチャ」の歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、リズムを感じて表現したりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 【思-①】「おもちゃの チャチャチャ」の拍やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 1』評価計画

1年 p.58～59

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
(おとの スケッチ) ほしの おんがくをつくろう (2時間扱い・3月)	(1) 旋律の特徴について、それが生み出す面白さなど関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	旋律の特徴について、それが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。			○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。			○	
	(3) 短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律や音の重なりを楽しむ。	主体的に学習に取り組む態度	短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

2年 p. 4~5

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
(導入) 「朝のリズム」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	主体的に学習に取り組む態度	歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

2年 p. 6~7

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 手びょうしりレーであそぼう (毎時扱い)	(1) 手拍子による様々な音の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	手拍子による様々な音の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。			○	
	発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。				○		
	(2) 強弱、タイミング、打つ回数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	強弱、タイミング、打つ回数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
(3) 手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、身の回りの様々な音や音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
1 強さとはやさ (7時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			○
			思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 強弱や速度、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	強弱や速度、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○			
(3) 強弱や速度の変化、反復や呼びかけとこたえに気付いて歌ったり聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、遊び歌に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	強弱や速度の変化、反復や呼びかけとこたえに気付いて歌ったり聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と、強弱や速度など音楽の構造との関わりに気付くとともに、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の楽しさを見いだして聴く。	◎「天国と地ごく」から ほか	○「天国と地ごく」から と、「かめ」を、体を動かしながら、強さや速さに注意して聴く。 ○「山のま王のきゅうでんにて」を、体を動かしながら、よいところ、面白いところを見つけて聴く。	【知-①】「天国と地ごく」「かめ」の曲想と、強弱や速度など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】「山のま王のきゅうでんにて」の強弱や速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。
1	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	小さなはたけ	○「小さなはたけ」を、歌詞に合った強弱や歌い方で、声を揃えて歌う。	【技-①】思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
4	反復や呼びかけとこたえなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら曲を味わって聴き、歌詞や曲想に合った表現を工夫するとともに、強弱の変化を捉えて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	山びごっこ ◎キャンディマン ◆かくれんぼ(共通教材)	○「山びごっこ」を、声の感じや強弱を工夫して歌う。 ○「キャンディマン」を聴き、呼びかけと答え(旋律と歌詞の模倣)の仕組みでできている部分を聴き取る。 ○「かくれんぼ」を、声の感じや強弱を工夫して歌う。	【知-②】「山びごっこ」及び「キャンディマン」の曲想と、反復、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【思-②】「かくれんぼ」の呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【主-①】反復や、呼びかけとこたえを捉えて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
2 はくやドレミと なかよし (7時間扱い・6～7月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能や、ドレミ(音名)で歌ったり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。	○			
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。	○	○	○	
	(2) 拍やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。	思考・判断・表現	拍やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。				○
(3) 歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、拍やリズム、階名や鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と拍やリズムなどとの関わりに気付くとともに、リズムが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	こいぬのビンゴ (どうぶつラップで あそぼう)	○「こいぬのビンゴ」を歌ったり、合わせてリズム打ちをしたりする。 ○拍にのって「どうぶつラップで あそぼう」の活動をする。	【主-①】歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】「どうぶつラップ」の拍やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。
3	曲想と、リズムや歌詞との関わりに気付くとともに、拍やリズムが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	びよんびよこ ロックンロール (はくに のって、ことばのリズムで あそぼう)	○「全音符」「2分音符」「4分音符」「8分音符」について理解して、「びよんびよこ ロックンロール」を歌う。 ○声で、言葉のリズムのまねっこあそびをする。 ○体から出る音で、言葉のリズムのまねっこあそびやリレーをする。	【知-①】「びよんびよこ ロックンロール」の曲想と、拍やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。 【技-①】発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。 【思-②】拍やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。
2	鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しむとともに、階名で模唱する技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。	〈楽きでドレミと なかよくなるろう〉 かえるのがっしょう	○鍵盤ハーモニカで音階の練習をする。 ○「かえるのがっしょう」を、輪唱したり輪奏したりする。	【主-②】鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-②】「かえるのがっしょう」を階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

2年 p. 26～27

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 音のかさなりやリズムをえらんで合わせよう (3時間・7月)	(1) 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。			○	
	思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。				○		
	(2) 音の重なりやリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもつ。	思考・判断・表現	音の重なりやリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもっている。			○	
	(3) 音の重なりを選んで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和音の響きや鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音の重なりを選んで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈めざせ 楽き名人〉 「かっこう」 「ドレミのトンネル」 (毎時・9月～)	(1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わり気付くとともに、「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、思いに合った表現をするために必要な、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	楽器の音色と演奏の仕方との関わり気付いている。		○		
	「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、思いに合った表現をするために必要な、範奏や伴奏を聴いたりリズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。			○			
	(2) 旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
(3) ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
3 きよくに合った歌い方 (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○			○
(3) 曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などをていねいに聴いたりする活動など興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などをていねいに聴いたりする活動などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と旋律や歌詞との関わりに気付くとともに、曲想や歌詞を生かして表現を工夫する学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	にじのクレヨン	○「にじのクレヨン」の曲想を感じ取ったり、旋律や歌詞の面白さを見つけたりしながら歌う。 ○「にじのクレヨン」の曲想に合うような歌声を工夫して歌う。	【知-①】 4分休符の位置や数を手がかりに、「にじのクレヨン」の曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて気付いている。 【主-①】 「にじのクレヨン」や「虫のこえ」の曲想や歌詞を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けるとともに、旋律や音色などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想に合った歌い方を工夫したり、曲や演奏の楽しさを見いだしたりして聴いたりする。	◆虫のこえ(共通教材) ◎ながうた「むしの声」	○「虫のこえ」を、歌詞の表現を工夫し、歌声や発音に気を付けて歌う。 ○長唄「むしの声」を、旋律や声の出し方などに注意して聴く。	【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音の スケッチ〉 どんな音がきこえるかな (2時間・9～10月)	(1) 身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなど関わらせて気付く。	知識	身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなど関わらせて気付いている。			○	
	(2) 音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴く。	思考・判断・表現	音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴いている。			○	
	(3) 身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
4 音色とリズム (4時間扱い・10～11月)	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
			思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりする。	思考・判断・表現	音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりしている。		○		○
(3) 楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな打楽器に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ゆかいな 時計	○「ゆかいな 時計」を、ウッドブロックの音色やリズムに気を付けて聴く。 ○「ゆかいな 時計」を、体を動かしながら聴いたり、よいところ、面白いところを見つけて聴いたりする。	【知-①】「ゆかいな 時計」の曲想と、音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。
2	音色やリズムの面白さを感じ取りながら、歌詞に合った楽器の音色を工夫するとともに、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。	森の たんけんたい	○「森の たんけんたい」を、曲想を感じ取って歌ったり、歌詞に合う楽器の音を考えたりする。 ○「森の たんけんたい」を、歌詞に合う楽器の音を工夫して、歌に合わせて演奏する。	【思-②】音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもっている。 【主-①】「森の たんけんたい」の楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

2年 p. 40～41

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈こっぼんのうた みんなのうた〉 「夕やけ こやけ」(共通教材) (2時間扱い・11月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律やフレーズを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律やフレーズを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

2年 p. 42～43

(コーナー名) (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
(めざせ 楽き名人) 「こぎつね」 (毎時扱い)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、手の移動などの奏法や、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。		○		
			手の移動などの奏法や、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
(3) 曲想を生かした演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器やドイツ民謡に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かした演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
5 おまつりの 音楽 (3時間扱い・12月)	(1) 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴く。	思考・判断・表現	音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴いている。				○
(3) いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、お祭りの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○	

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
1	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	村まつり	○「村まつり」の曲想を感じ取り、歌い方を工夫する。	【知-①】「村まつり」の曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【技-①】思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	太鼓の音やリズムが生み出すよさを感じ取りながら、演奏の楽しさを見いだして聴くとともに、いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎日本の たいこ	○「日本の たいこ」4種類を聴き、気付いたことや感じたことを話し合う。	【主-①】いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴いている。

(コーナー名) (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
(音の スケッチ) おまつりの 音楽をつくろう (3時間・12月)	(1) 太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつないだりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
	思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。				○		
	(2) リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりしている。			○	
(3) 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和太鼓による音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

2年 p. 48～49

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
6 音楽の ながれ (2時間扱い・1月)	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と音色などとの関わりに気付くとともに、音色、旋律、反復、変化などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎そりすべり	○「そりすべり」を、聞こえてくる音に気を付けて聴く。 ○「そりすべり」の旋律を聴き取り、体を動かしながら聴く。 ○「そりすべり」のよいところ、面白いところを見つけて聴く。	【知-①】「そりすべり」の曲想と、音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】「そりすべり」の音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】「そりすべり」の音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
7 くりかえしとかさなり (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わり気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わり気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 反復、音の重なり、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	反復、音の重なり、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○	○		○
(3) 曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	互いの声や楽器の音、旋律や音型の反復と重なり、速度の変化が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想を感じ取って表現を工夫したり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	自動車は 走る ◎しゅっぱつ	○「自動車は 走る」の主旋律を歌ったり、副次的旋律を加えて歌ったりする。 ○「自動車は 走る」を、楽器を合わせて演奏する。 ○「しゅっぱつ」を、楽器の音や、旋律や速度の変化に注意して聴く。 ○「自動車は 走る」を演奏しながら、自動車の様子を表す。	【知-①】「自動車は 走る」の曲想と、速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わり気付いている。 【技-①】思いに合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】「しゅっぱつ」の速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。 【主-①】「自動車は 走る」の曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-②】「自動車は 走る」の反復、音の重なり、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
8 みんなの音楽 (4時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			○
	思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 音色や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	音色や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもっている。	○	○		
(3) 曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習 に取り組む態度	曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				○

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と拍や旋律、歌詞との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	ウンパッパ ◎ティニックリング	○「ウンパッパ」を、拍やその流れにのって歌う。 ○「ティニックリング」の音楽に合わせて、膝打ちや手拍子などで3拍子のリズムを打ったり、「ウンパッパ」を、旋律を重ねて歌ったりする。	【知-①】「ウンパッパ」や「ティニックリング」の曲想と、拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【技-①】思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しむとともに、音色や音の重なりなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想に合った表現を工夫する。	チャチャ マンボ ◎マンボ ナンバー ファイブ	○曲想を感じ取って「マンボ ナンバー ファイブ」を聴いたり、「チャチャ マンボ」を歌ったりする。 ○「チャチャ マンボ」の合奏をする。	【主-①】曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】「チャチャ マンボ」の音色や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

2年 p. 56～57

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「春がきた」(共通教材) (1時間扱い・3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

2年 p. 58～59

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音の スケッチ〉 みんなの 音楽時計をつくろう (4時間扱い・3月)	(1) 音型の反復について、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	音型の反復について、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。			○	
	思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。				○		
	(2) 音楽の縦と横との関係や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	音楽の縦と横との関係や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。			○	○
(3) 音型を組み合わせて音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音型を組み合わせて音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画

2年 p. 60～61

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
クリスマスソングを歌おう (1時間扱い・随時)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。				○
	思いに合った表現をするために必要な、互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律や速度などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。	思考・判断・表現	旋律や速度などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。				○
(3) 曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、季節や行事に関わる歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○	

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

3年 p. 4~5

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈導入〉 「小さな世界」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律、変化、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、変化、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 「アラム サム サム」 (毎時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 旋律の重なりや、体を動かしながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の重なりや、体を動かしながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○＝本評価規準における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 (リズムなかま)で楽しもう！ (毎時扱い)	(1) リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、その生み出すよさや面白さなどに関わらせながら気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、その生み出すよさや面白さなどに関わらせながら気付いている。			○	
	思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。				○		
	(2) リズムや音の重なりなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	リズムや音の重なりなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) リズムやその重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リズムやその重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○＝本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

3年 p. 8～9

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「春の小川」(共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
1 楽ふとドレミ (4時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
			ハ長調の音階で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	○	○		
(3) ハ長調の音階で表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、音階や鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	ハ長調の音階で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けるとともに、ハ長調の音階で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	キラキラおひさま	○〈楽ふのお話〉のページで、音符や記号、五線などについて知り、「キラキラおひさま」を階名唱する。 ○「キラキラおひさま」を輪唱・輪奏する。	【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。 【主-①】 ハ長調の音階で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	曲想と音階や歌詞との関わりに気付くとともに、音の重なりや音階が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ドレミの歌	○「ドレミの歌」の主旋律を歌詞で歌う。 ○「ドレミの歌」を二部合唱する。	【知-①】 「ドレミの歌」の曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【思-①】 「ドレミの歌」の音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

3年 p. 14～17

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「茶つみ」(共通教材) (2時間扱い・5月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律、リズム、反復などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、リズム、反復などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

3年 p. 18～25

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
〈こんにちはリコーダー〉 (3時間+毎時・5～6月)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。			○	○		
	(2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いたりしている。		○		○
	(3) リコーダーで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リコーダーで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○		

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

3年 p. 26～27

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
2 ひびきのある歌声 (2時間扱い・7月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌声や合唱の響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			○

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けるとともに、旋律、音色、変化などが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	この山光る ◎ホルディリディア	○「この山光る」を、ふさわしい歌声を探して歌う。 ○「ホルディリディア」を、高音を歌う声に注目して聴く。 ○「この山光る」の旋律の特徴について考え、生かして歌う。	【知-①】「この山光る」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主-①】 旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 「この山光る」の旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

3年 p. 28～29

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 いろいろな声で表げんしよう (2時間扱い・7月)	(1) いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声の出し方を選択したり声を組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
	発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声の出し方を選択したり声を組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。				○		
	(2) 声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	(3) いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

3年 p. 30～31

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「うさぎ」(共通教材) (1時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈めざせ 楽き名人〉 「かえり道」 「レッツゴー ソーレー」 (毎時扱い・9月～)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 音色、旋律、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色、旋律、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) 旋律の感じを生かしてリコーダーで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の感じを生かしてリコーダーで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

3年 p. 34～37

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
3 せんりつと音色 (3時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンやチェロの演奏に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と、旋律や音色との関わりに気付くとともに、楽器の音色、旋律の反復と変化が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ユモレスク ◎白鳥	○「ユモレスク」の旋律の変化や再現に気を付けて、体を動かしながら聴く。 ○「ユモレスク」の曲全体を味わって聴く。 ○「白鳥」を全曲通して体を動かしながら聴く。 ○「白鳥」の曲全体を味わって聴く。	【主-①】 旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 バイオリンの音色、「ユモレスク」の旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【知-①】 「白鳥」の曲想と旋律やチェロの音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-②】 チェロの音色、「白鳥」の旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
4 曲に合った歌い方 (2時間扱い・10月)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 音色、フレーズ、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色、フレーズ、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想とフレーズや、歌詞の内容との関わりに気付くとともに、声を合わせて歌う技能や、楽器を演奏する技能を身に付ける。	森の子もり歌	○「森の子もり歌」の曲想を感じ取り、旋律の特徴を捉え、歌詞の表す情景を思い浮かべて歌う。 ○「森の子もり歌」を合唱奏する。	【知-①】「森の子もり歌」の曲想と、フレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【思-①】「森の子もり歌」の音色、フレーズ、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意思をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、「森の子もり歌」を声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。 【主-①】「森の子もり歌」の曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
〈こっぼんのうた みんなのうた〉 「ふじ山」(共通教材) (2時間扱い・10～11月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞	
5 日本と世界の音楽 (7時間扱い・11～12月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり、体を動かしたり、演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり楽器を演奏したり体を動かしたりする技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律やリズム、拍、速度、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律やリズム、拍、速度、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏したりするかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○			○
(3) 日本や世界の歌や音楽を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本や諸外国の遊び歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○	

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
4	日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、旋律やリズム、拍、速度などが生み出すよさや面白さを感じ取り、曲のよさを見いだして聴く。	◎日本や世界の子ども歌 十五夜さんのもちつき 陽気なかじや	○「十五夜さんのもちつき」と「キバパーキ パパ」を聴き、「十五夜さんのもちつき」を手合わせして遊ぶ。 ○「あつい豆がゆ」「半月」「陽気なかじや」を聴き、それぞれの特徴を感じ取る。 ○「陽気なかじや」を手合わせして遊ぶ。 ○「日本や世界の子ども歌」を聴き、それぞれの曲の共通点や違いを感じ取る。	【知-①】「十五夜さんのもちつき」の曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり体を動かしたりする技能を身に付けている。 【思-①】「陽気なかじや」や他の曲の旋律やリズム、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。
3	曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気付き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする。	メロンの気持ち	○「メロンの気持ち」を聴き、この曲に呼びかけとこたえや、音の重なりなどの仕組みがあることを知る。 ○伴奏に合わせて歌ったり、旋律楽器や打楽器を演奏したりして、合いの手や音の重なりのある演奏をする。	【技-②】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり楽器を演奏したりする技能を身に付けている。 【知-②】曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-②】「メロンの気持ち」の曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図を持っている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

3年 p. 50～51

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 ばんそうに合わせてせんりつをつくろう「雪のおどり」 (2時間扱い・12月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。			○	
	発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。				○		
	(2) 音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。			○	
(3) 曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱や、5音をもとにした旋律づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
6 パートの役わり (3時間扱い・1月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		○
(3) 曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、アメリカ民謡や合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と声部の役割などとの関わりに気付くとともに、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	せいじゃの行進 ◎せいじゃの行進	○鑑賞曲「せいじゃの行進」を体を動かしながら、楽器の音やリズムに注意して聴く。 ○「せいじゃの行進」の主旋律と副次的旋律のパートを楽器で演奏する。 ○「せいじゃの行進」を、パートの関わり合いや役割に気付いて合奏する。	【主-①】 鑑賞曲「せいじゃの行進」の曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【知-①】 「せいじゃの行進」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 「せいじゃの行進」の呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈めざせ 楽き名人〉 「あくびのうた」 「冬さん、さようなら」 (毎時扱い)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。			○			
	(2) 音色、旋律、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色、旋律、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) リコーダーの響きや声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーや二重奏、二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リコーダーの響きや声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

3年 p. 56～57

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
7 音楽のききどころ (3時間扱い・2月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	音色、旋律、反復、変化などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎組曲「アルルの女」から	○「アルルの女」から「メヌエット」を、楽器の音色や関わり合い、旋律の変化に気付いて聴く。 ○「メヌエット」のよいところを捉えて聴く。 ○「ファランドール」のよいところを捉え、曲全体を味わって聴く。	【主-①】 楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「メヌエット」の曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
8 思いに合った表げん (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
(3) 声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習 に取り組む態度	声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	旋律やリズム、音の重なりなどが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かしながら音楽活動を楽しむ。	パフ	○「パフ」を情景や気持ちを想像しながら歌う。 ○グループに分かれ、担当するパートを決めて練習する。 ○グループごとに発表し、聴き合う。 ○グループごとにリレー演奏する。	【知-①】「パフ」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 「パフ」の旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【主-①】 声部の役割を意識して「パフ」を演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 音のひびきや組み合わせを楽しもう (2時間扱い・3月)	(1) 打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。			○	
	発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。				○		
	(2) 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。			○	
	(3) 音の響きや組合せを生かして表現することに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組み、様々な打楽器の音色に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音の響きや組合せを生かして表現することに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組もうとしている。			○	

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画

3年 p. 62～63

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈物語の音楽を楽しもう〉 「ピーターとおおかみ」 (2時間扱い・随時)	(1) 曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、旋律、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 物語を音楽で表していることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育む。	主体的に学習に取り組む態度	物語を音楽で表していることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

4年 p. 6～7

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈導入〉 「ありがとうの花」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じる。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現したりする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 「早口」 (毎時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない声で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない声で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 言葉の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	言葉の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 早口言葉でラップを楽しもう！ (毎時扱い)	(1) リズムのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	リズムのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。			○	
	思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。				○		
	(2) リズムや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	リズムや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) 言葉のリズムの面白さを生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	主体的に学習に取り組む態度	言葉のリズムの面白さを生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

4年 p. 10～13

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「さくら さくら」(共通教材) ◎さくら変奏曲 (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律、音階、音色、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律、音階、音色、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いている。	(○)			○
(3) 日本のうたをもとにした音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、箏の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	日本のうたをもとにした音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
1 はくとせんりつ (6時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			○
	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付けている。		○	○			
	(2) 拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○			
(3) 拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな拍子の音楽に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				○

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付けるとともに、拍や旋律などが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ラバーズ コンチェルト ◎メヌエット ◎トルコ行進曲 メリーさんの羊	○「ラバーズ コンチェルト」と「メヌエット」を、指揮の動きをしながら歌ったり聴いたりする。 ○「ラバーズ コンチェルト」と「メヌエット」を比べる。 ○「トルコ行進曲」を、指揮の動きをするなどして2拍子を感じながら聴く。 ○「メリーさんの羊」を、友達の指揮を見て歌ったり演奏したりする。	【知-①】「ラバーズ コンチェルト」「メヌエット」の曲想と、拍など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】「トルコ行進曲」の拍や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだして聴いている。 【主-①】拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-②】「メリーさんの羊」の曲想と、拍やその流れ、速度など音楽の構造との関わりに気付いている。
3	曲想と、拍など音楽の構造との関わりに気付くとともに、拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	エーデルワイス	○「エーデルワイス」の主旋律を、拍子を感じ、旋律のまとまりを捉えて歌う。 ○「エーデルワイス」を歌と楽器で合わせて演奏する。	【思-②】「エーデルワイス」の拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器で演奏したりする技能を身に付けている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
2 ひびきのある歌声 (4時間扱い・6～7月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴く。	思考・判断・表現	音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。				
(3) いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ミュージカルの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。					○

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	音色や旋律などが生み出すよさや面白さを感じ取りながらミュージカルの音楽を聴く。	◎ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」から	○ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」について知り、各曲を歌声や旋律に注意して聴く。	【思-①】 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。 【主-①】 いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	曲想と旋律や歌詞の内容との関わりに気付くとともに、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	プパポ	○「プパポ」の主旋律(上声部)を、フレーズのまとまりを捉えて、歌い方を工夫する。 ○パートの関わり合い方を意識して二部合唱する。□	【知-①】 「プパポ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

4年 p. 24～25

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「まきばの朝」(共通教材) (1時間扱い・7月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

4年 p. 26～27

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 音の動き方を生かしてせんりつをつくろう (2時間・7月)	(1) 音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。			○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	(2) 旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。	思考・判断・表現	旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。			○	
(3) 音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律やフレーズに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

4年 p. 28～29

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
(めざせ 楽器名人) 「ハロー サミング」 「もののけ姫」から (毎時・9月～)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付ける。	知識・技能	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付けている。			○			
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図もっている。		○		
(3) 高い音をきれいに響かせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーの二重奏、二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	高い音をきれいに響かせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
3 曲に合った歌い方 (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
			曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む態度	曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○		

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	旋律などが生み出すよさを感じ取りながら、表現を工夫するとともに、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	ゆかいに歩けば	○「ゆかいに歩けば」の主旋律の特徴に合う歌い方を考えて歌う。 ○「ゆかいに歩けば」を二部合唱する。	【思-①】「ゆかいに歩けば」の旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	曲想と旋律や歌詞との関わりに気付くとともに、曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◆とんび(共通教材)	○「とんび」の旋律の流れや歌詞に合う歌い方を考える。 ○「とんび」の旋律を、ふさわしい歌い方で歌う。	【知-①】「とんび」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主-①】「とんび」の曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

4年 p. 34～35

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
4 かけ合いと重なり (3時間扱い・10月)	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と音楽の構造との関わりに気付くとともに、音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎アラ ホーンパイプ	○「アラ ホーンパイプ」の「〈主なせんりつ〉を中心とする部分」を聴き、特徴に気付く。 ○「アラ ホーンパイプ」を全曲通して聴き、形式に気付く。 ○「アラ ホーンパイプ」を全曲通して聴き、よさや面白さを味わう。	【主-①】 楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「アラ ホーンパイプ」の曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「もみじ」(共通教材) (2時間扱い・10～11月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたや二部合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○＝本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
5 日本と世界の音楽 (6時間扱い・11～12月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	○		○	
	(2) 旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見だし、味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見だし、味わって聴いたりしている。	○	○		
(3) 我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中から生まれた多様な音楽に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。					○

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
1	旋律や音色などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ソーラン節 ◎ソーラン節	○「ソーラン節」を、声や歌い方を工夫しながら音頭一同形式で歌う。	【思-①】「ソーラン節」の旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
2+α	曲想と旋律やリズムなどとの関わりに気付くとともに、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	◎秩父屋台ばやし ◎葛西ばやし ☆おはやしづくりにチャレンジ (日本のお祭りをたずねて)	○「秩父屋台ばやし」などを聴き、お囃子のリズムや楽器の音色に親しんだり、自分たちでお囃子をつくったりする。 ○自分たちの地域にあるお祭りの音楽や、知っているお囃子などについて話し合ったり聴いたりする。	【知-①】 お囃子の曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。 【主-①】 我が国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3	諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎サムルノリ ◎サンバの音楽 朝の歌 おどれサンバ	○「朝の歌」を、遠くに呼びかけるような声で歌う。 ○「サムルノリ」や「サンバの音楽」を聴き、リズムや楽器の音色の特徴を感じ取る。 ○「おどれサンバ」を楽器のリズムで伴奏して歌い合わせる。	【主-①】 我が国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-②】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。 【主-②】 諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-②】 「おどれサンバ」のリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

4年 p.50～51

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 音階をもとにして 音楽をつくろう (2時間扱い・12月)	(1) 様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。			○	
	発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。				○		
	(2) 旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。			○	
(3) 音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の旋律に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
6 パートの役わり (3時間扱い・1月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。		○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) 曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、タンゴの音楽や合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	音色に気を付け、音を合わせて演奏する技能を身に付けるとともに、フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ラ クンパルシータ	○主旋律が続くように、鍵盤ハーモニカの1・2パートを合わせて演奏する。 ○担当するパートを決めて練習する。 ○全員やグループで合奏する。	【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【知-①】 「ラ クンパルシータ」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 「ラ クンパルシータ」の曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 「ラ クンパルシータ」のフレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

4年 p. 54～55

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
7 音楽のききどころ (3時間扱い・2月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と旋律や音色などとの関わりに気付くとともに、音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ノルウェー舞曲 第2番	○「ノルウェー舞曲 第2番」を、曲全体の曲想や構成を捉えて聴く。 ○「始め」「中」「終わり」の特徴の変化に気を付けて聴く。 ○曲全体の特徴や演奏のよさを味わって聴く。	【主-①】「ノルウェー舞曲 第2番」の曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】「ノルウェー舞曲 第2番」の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】「ノルウェー舞曲 第2番」の音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
8 思いに合った表げん 選択A 器楽 (2時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。		○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	音色や旋律、音の重なりなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	遠き山に日は落ちて	○「遠き山に日は落ちて」の両方の声部をリコーダーで演奏し、役割やふさわしい響きについて考える。 ○「遠き山に日は落ちて」を聴き合いながら二部合奏する。 ○学校の中で流れている音楽について意見を交流する。	【知-①】「遠き山に日は落ちて」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「遠き山に日は落ちて」の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
8 思い合った表げん 選択B 歌唱 (2時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	音色や旋律、音の重なりなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	グッデー グッバイ	○「グッデー グッバイ」の両方の声部を歌い、役割やふさわしい歌い方について考える。 ○「グッデー グッバイ」を聴き合いながら二部合唱する。 ○学校の中で流れている音楽について意見を交流する。	【知-①】「グッデー グッバイ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主-①】声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思-①】音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「グッデー グッバイ」の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 役わりをもとに音楽をつくろう (3時間扱い・3月)	(1) フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付いている。			○	
	発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。				○		
	(2) フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫する。	思考・判断・表現	フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫している。			○	
(3) 役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○＝本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 4』評価計画

4年 p. 60～61

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
〈いろいろな歌声を楽しもう〉 歌げき「魔笛」から (2時間扱い・随時)	(1) 曲想と、音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴く。	思考・判断・表現	歌声や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。				○
	(3) いろいろな歌声の特徴を捉えて音楽を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌劇の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな歌声の特徴を捉えて音楽を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈導入〉 「夢色シンフォニー」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 音色、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○＝本評価規準における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 「花のおくりもの」 (毎時扱い)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 音色、フレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色、フレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌声を合わせて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌声を合わせて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 「クラップ フレンズ」 (毎時扱い)	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。		○		
	思いや意図に合った表現をするために必要な、拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付けている。			○			
	(2) リズムや強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	リズムや強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) 強弱を意識して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、手拍子によるリズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	強弱を意識して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈こっぼんのうた みんなのうた〉 「こいのぼり」(共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 5』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
1 和音や低音のはたらき (4時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
(3) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けるとともに、和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	茶色の小びん 和音のはたらきを感じ取ろう	○「茶色の小びん」の主旋律と低音を合わせて演奏する。 ○ハ長調の音階、和音について知り、「茶色の小びん」を和音を感じながら演奏する。	【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。 【主-①】 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	曲想と音の重なりや和音の響きとの関わりについて理解するとともに、音の重なりや和音の響きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	こきょうの人々	○「こきょうの人々」を旋律と和音、旋律と低音、旋律と和音と低音、それぞれの組み合わせで演奏して比べ、気付いたことを話し合う。 ○「こきょうの人々」を、グループで演奏の工夫をする。	【知-①】 「こきょうの人々」の曲想と、音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「こきょうの人々」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 5』評価計画

5年 p. 20～21

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 和音に合わせてせりりつをつくろう (2時間扱い・6月)	(1) 和音と旋律の関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	和音と旋律との関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。			○	
	思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。				○		
	(2) 旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成するを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成するを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) 和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
2 アンサンブルのみりよく(合唱) (6時間扱い・6～7月)	(1) 曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりしている。	○			
(3) いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				○

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	いろいろな形態の合唱に興味をもつとともに、音の重なりなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴く。	◎いろいろな合唱	○声の種類や合唱形態について知るとともに、女声合唱と男声合唱を比較して聴き、気付いたことを交流する。 ○女声合唱、男声合唱、児童合唱、混声合唱ごとに、気付いたことや魅力についてまとめる。	【主-①】 いろいろな形態の合唱の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いている。
4	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	ハロー・シャイニング ブルー	○「ハロー・シャイニング ブルー」の特徴を捉え、全員でイメージを共有して上声部を歌う。 ○下声部を捉え二部合唱し、声部の関わり合いや全体の響きを確認する。 ○曲の仕組みや特徴について、意見を出し合ったり確認したりして歌う。 ○「こう歌いたい」という内容を出しあって、更に工夫し、思いや意図を大切に二部合唱する。	【主-②】 自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。 【思-②】 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「ハロー・シャイニング ブルー」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知-①】 「ハロー・シャイニング ブルー」の曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈めざせ 楽器名人〉 「星笛」 (毎時扱い・6～7月)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。		○		
	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。			○			
	(2) 音色やフレーズ、拍、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色やフレーズ、拍、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) 声部のかけ合いや重なりを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声部のかけ合いや重なりを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○＝本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 5』評価計画

5年 p. 30～33

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
3 アンサンブルのみよく(オーケストラ) (3時間扱い・9月)	(1) 曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴き、オーケストラの音楽に親しむ。	◎組曲「カレリア」から「行進曲風に」	○オーケストラの楽器の名前や、楽器群について知り、組曲「カレリア」から「行進曲風に」を、オーケストラの響きを楽しんで聴く。 ○旋律の反復と変化に気付き、楽器群の音色を捉えて聴く。 ○曲の構造や旋律を演奏する主な楽器の変化を捉え、曲全体を聴く。	【主-①】 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「行進曲風に」の曲想と、楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 「行進曲風に」の音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「赤とんぼ」 (1時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律、強弱などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、強弱などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の歌曲に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○＝本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 5』評価計画

5年 p. 36～37

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
4 パートの役わり (2時間扱い・10～11月)	(1) 曲想と拍など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。		○		
	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。			○			
	(2) 拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) 曲の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、フォルクローレの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と、音楽の構造との関わりについて理解するとともに、拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	風とケーナのロマンス	○「風とケーナのロマンス」の曲想や特徴を捉えながら、各声部をリコーダーで演奏する。 ○グループごとに演奏の工夫をする。 ○発表して意見を交流する。	【知-①】「風とケーナのロマンス」の曲想と、拍など音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】「風とケーナのロマンス」の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】「風とケーナのロマンス」の拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 5』評価計画

5年 p. 38～43

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
5 日本の音楽 (4時間扱い・11～12月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○			○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。	○	○		○
(3) 我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○	

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2+ α	曲想と、旋律などとの関わりについて理解するとともに、我が国の音楽の旋律や音色、拍などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のよさを見いだして聴く。	◆子もり歌(共通教材) ◎会津磐梯山 ◎音戸の舟歌 (日本の民ようをたずねて)	○日本の子もり歌の節回しや旋律の特徴を生かし、表情豊かに歌う。 ○民謡を歌う声の出し方や節回し、拍に注目して、「会津磐梯山」と「音戸の舟歌」、身の回りの声の表現を聴く。 ○日本の民謡を、声の出し方や節回しの面白さなど、よさや特徴を感じ取りながら聴く。	【知-①】 「子もり歌」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 我が国の音楽の旋律や音色、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。 【主-①】 我が国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2+ α	呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けるとともに、我が国の音楽の旋律や音色、音の重なりなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	こきりこ節 (谷茶前)	○「こきりこ節」を、声の出し方や旋律の動き、呼吸や発音に気を付けて歌う。 ○「こきりこ節」を楽器の伴奏を加えて歌う。 ○「谷茶前」の演奏を聴き、曲想に合った表現の仕方を工夫して歌ったり、沖縄の音階やリズムの特徴を生かした音楽をつくったりする。	【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【思-②】 「こきりこ節」の旋律や音色、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知-②】 沖縄県民謡の曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
6 豊かな表現 (4時間扱い・11～12月)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱曲や日本のうたに親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
4	曲想と、音楽の構造との関わりについて理解するとともに、拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	地球の向こう側の君へ ◆冬げしき(共通教材)	○「地球の向こう側の君へ」の曲想を感じ取ったり、曲の特徴を理解したりする。 ○「地球の向こう側の君へ」の曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて考えをもつ。 ○「地球の向こう側の君へ」の曲想に合った歌い方を身に付ける。 ○「冬げしき」の曲想を感じ取ったり、曲の特徴を理解したりする。 ○「冬げしき」の曲にふさわしい歌い方や声の出し方を考え、自然で無理のない、響きのある歌い方を身に付ける。	【主-①】 二つの歌の曲想や音楽の特徴の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴や歌詞にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【主-②】 曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。 【思-②】 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴や歌詞にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知-①】 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 いろいろな声で音楽をつくろう (2時間扱い・12月)	(1) 多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。			○	
	発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。				○		
	(2) 音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。			○	
(3) 詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽に対する感性を育む。	主体的に学習に取り組む態度	詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 5』評価計画

5年 p. 50～51

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「スキーの歌」(共通教材) (2時間扱い・1月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 5』評価計画

5年 p. 52～53

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
7 音楽のききどころ (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 曲の特徴を見だしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴を見だしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎つるぎのまい	○「つるぎのまい」を、曲の特徴に気を付けながら全体を通して聴く。 ○曲想とその変化などの特徴や、音楽を形づくっている要素の関わり合いを体の動きで表わし、曲の面白さや特徴を理解する。 ○曲全体の特徴や演奏のよさを味わって聴き、曲のよさや面白さについてまとめる。	【主-①】「つるぎのまい」の曲の特徴を見だしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】「つるぎのまい」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】「つるぎのまい」の旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
8 思いをこめた表現 選択A 器楽 (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。		○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習 に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	ルパン三世のテーマ	○「ルパン三世のテーマ」の曲想を捉え、それぞれのパートを分担し、自分の担当するパートの役割や特徴について考える。 ○合奏したり、パートごとに練習したりする。 ○合奏を仕上げ、学習活動を振り返る。	【知-①】「ルパン三世のテーマ」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】「ルパン三世のテーマ」を音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】「ルパン三世のテーマ」の、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
8 思いをこめた表現 選択B 歌唱 (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	君をのせて	○「君をのせて」の主旋律の歌い方を工夫する。 ○下声部を捉え、二部合唱したり、パートごとに練習したりする。 ○合唱を仕上げ、学習活動を振り返る。	【知-①】「君をのせて」の曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 【主-①】「君をのせて」を声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。 【思-①】「君をのせて」の、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「君をのせて」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 ずれの音楽を楽しもう (2時間扱い・3月)	(1) 反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。			○	
	思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。				○		
	(2) リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの間わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの間わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	○
(3) リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、インターロッキングの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○＝本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 5』評価計画

5年 p. 60～61

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈変奏曲を楽しもう〉 ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章から (3時間扱い・随時)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 旋律、音楽の縦と横との関係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	旋律、音楽の縦と横との関係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、室内楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

6年 p. 6～7

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈導入〉 「つばさをください」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 ワイバンバ (毎時扱い)	(1) 曲想と、旋律や音楽の縦と横との関係など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音楽の縦と横との関係などの音楽の構造との関わりについて、それらのよさや面白さなどと関わらせて理解している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 声が重なる面白さや美しさなどに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声が重なる面白さや美しさなどに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○＝本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 言葉をもとにリズムで遊ぼう (2時間+毎時扱い)	(1) リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど と関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽 の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関 わらせて理解している。			○	
			思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつく る技能を身に付けている。			○	
	(2) リズム、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ 取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと 構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて 思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	リズム、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取り ながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成 することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思い や意図をもっている。			○	
(3) 言葉をもとにしてリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	言葉をもとにしてリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

6年 p. 10～13

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「おぼろ月夜」(共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

6年 p. 14～15

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
1 短調のひびき (3時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解している。	○	○		
	思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。			○			
	(2) 調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたりしている。		○		○
(3) 長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽に対する感性を育む。	主体的に学習に取り組む態度	長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けるとともに、調、和音の響き、変化などが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫したり、曲全体を味わって聴いたりする。	マルセリーノの歌 ◎ハンガリー舞曲 第5番	○「マルセリーノの歌」を演奏し、イ短調とハ長調の違いについて理解する。 ○「マルセリーノの歌」をパートに分かれて練習し、合奏する。 ○調性の変化に気付いて「ハンガリー舞曲 第5番」を聴いたり、「マルセリーノの歌」を合奏したりする。	【知-①】「マルセリーノの歌」の曲想と、調など音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。 【主-①】「マルセリーノの歌」の長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたりしている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

6年 p.16～19

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
2 アンサンブルのみりよく (5時間扱い・5～6月)	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と強弱など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			○
(3) 演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			○	

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	曲想と強弱などとの関わりについて理解するとともに、演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎交響曲第5番「運命」第1楽章から	○交響曲第5番「運命」第1楽章をオーケストラの響きを感じ取り、「タタタターン」の音型を意識しながら聴く。 ○冒頭を、数種類の演奏で比較鑑賞したり、第1楽章全体を演奏表現に気を付けて聴いたりする。	【知-①】「交響曲第5番」の曲想と、強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3	各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けるとともに、旋律や音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	ぼくらの日々	○「ぼくらの日々」を、曲の特徴を捉えて二部合唱する。 ○自分たちの表現を目指して合唱する。	【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。 【知-②】「ぼくらの日々」の曲想と音楽の縦と横との関係など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 【思-①】「ぼくらの日々」の旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈めざせ 楽器名人〉 「The Sound of Music」 (毎時扱い・6～7月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。		○		
	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。			○			
	(2) 旋律やフレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やフレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) 声部の役割や全体の響きを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダー・アンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声部の役割や全体の響きを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

6年 p. 22～25

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 われは海の子(共通教材) (2時間扱い・7月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	りづ音 く楽	鑑賞
3 せん律のひびき合い (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付けている。			○			
	(2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) 旋律の重なりや響きを味わいながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多声音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の重なりや響きを味わいながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
4	曲想と旋律や音の重なりなどとの関わりについて理解するとともに、音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	ロック マイソウル カノン ◎カノン	○「ロック マイソウル」をグループに分かれて歌う。 ○鑑賞曲「カノン」を聴いて、気付いたことを発表する。 ○「カノン」の各声部を演奏する。 ○「カノン」を8～10人ずつのグループに分かれて合奏し発表する。	【主-①】「ロック マイソウル」の旋律の重なりや響きを味わいながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】「カノン」の曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、「カノン」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

6年 p. 30～31

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
4 音楽のききどころ (3時間扱い・10月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだして聴く。	思考・判断・表現	音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだして聴いている。				○
	(3) 楽器同士の関わり合いや、曲の特徴を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンとピアノのアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器同士の関わり合いや、曲の特徴を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と、旋律や音色などとの関わりについて理解するとともに、音色や音楽の縦と横との関係などが生み出すよさなどを感じ取りながら聴く。	◎バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章	○「バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章」の前半部を、曲の特徴やバイオリンとピアノの関わり合いに気を付けながら聴く。 ○音楽を形づくっている要素の関わり合いを体の動きで表し、曲の面白さや特徴を理解する。 ○曲想やその変化などの特徴や、音楽を形づくっている要素などとの関わり合いに気を付けて全曲通して聴き、気づきを交流したり感想をまとめたりする。	【知-①】「バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章」の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】 楽器同士の関わり合いや、曲の特徴を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだして聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
5 豊かな表現 選択A 歌唱 (3時間扱い・10～12月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、旋律や音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	明日を信じて	○「明日を信じて」の旋律の流れを捉え、歌詞との関わりを生かして歌う。 ○アイウの部分ごとに、どのように歌っていくか考えて二部合唱する。 ○合唱を仕上げ、響き合いを楽しみながら歌う。	【知-①】「明日を信じて」の曲想と音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 【思-①】「明日を信じて」の旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【主-①】「明日を信じて」の声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

6年 p. 34～35

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
5 豊かな表現 選択B 器楽 (3時間扱い・10～12月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりについて理解している。		○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽演奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
3	曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、旋律や音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	L-O-V-E	○「L-O-V-E」の主旋律と副次的旋律の部分をつまみ演奏する。 ○各パートの音や役割を確認し、グループに分かれ、担当を決めて演奏する。 ○グループごとに発表したり、各グループを続けて演奏したりする。	【主-①】 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「L-O-V-E」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 「L-O-V-E」の、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

6年 p. 36～37

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう (2時間扱い・12月)	(1) 和音と旋律との関わりや、和音や旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付ける。	知識・技能	和音と旋律との関わりや、和音や旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて理解している。			○	
	発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付けている。				○		
	(2) 和音の響きや旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。	思考・判断・表現	和音の響きや旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得ている。			○	
(3) 和音と旋律との関わりや、繰り返す和音進行をもとに即興的に表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、循環コード(繰り返す和音進行)の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	和音と旋律との関わりや、繰り返す和音進行をもとに即興的に表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
6 世界の音楽 (4時間扱い・1月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○		○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○	
	(2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。		○	
(3) 諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	いろいろな国の音楽の、様々な旋律や音色、音の重なりが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のよさを見いだして聴くとともに、諸外国に伝わる音楽の特徴や人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎世界の声の音楽 ◎世界の楽器のひびき	○世界のいろいろな国の音楽(声)を鑑賞し、それぞれの音楽や表現のよさや面白さを味わう。 ○声や楽器のなかから一つ選んで、よさや面白さについて発表する。	【主-①】 諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 いろいろな国の音楽の旋律や音色、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。
2	諸外国に伝わる音楽を歌ったり演奏したりする活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりについて理解したり、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、音を合わせて演奏したりする技能を身に付けたりする。	チャウエ チョー チュム チェロ ウェンセスラスはよい王様 (どちらかを選択)	○2曲ある教材からどちらかを選択して学習する。 ○各声部に分かれて演奏し、合奏する。 ○各声部や伴奏をよく聴いて、それぞれの役割や音を合わせたときの効果などについて話し合う。	【知-①】 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
7 日本の音楽 (4時間扱い・1月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律、音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	旋律、音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったりしている。	○	○		○
(3) 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○	

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
2	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもつとともに、曲想と旋律や音色などとの関わりについて理解する。	◎春の海	○「春の海」を、雰囲気を感じ取り、楽器の音色に気を付けて聴く。 ○旋律の変化と再現に注目して聴いたり、曲全体を味わって聴いたりする。	【主-①】 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「春の海」の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 「春の海」の旋律、音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。
2	旋律や音の重なりが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	◆越天楽今様(共通教材)	○「越天楽今様」のうたの旋律を、情景を思い浮かべ、呼吸や発音に気を付けて歌う。 ○グループに分かれて表現の工夫をしたり、全員で合奏したりする。	【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。 【思-②】 「越天楽今様」の旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
8 思いをこめた表現 選択A「ふるさと」+器楽 (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) 曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
1	曲想と旋律や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	◆ふるさと(共通教材)	○「ふるさと」を、旋律の流れやまとまり、歌詞との関わりを生かして二部合唱する。	【知・技-①】「ふるさと」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	旋律や音色などが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	Take Me Home, Country Roads (ふるさと)	○「Take Me Home, Country Roads」を、パートの役割を捉えて二部合奏する。 ○ペアやグループで発表し、学習を振り返る。	【主-①】「Take Me Home, Country Roads」の曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】「Take Me Home, Country Roads」の旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

6年 p. 48～49、51

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
8 思いをこめた表現 選択B「ふるさと」+歌唱 (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習 に取り組む態度	曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○＝本評価規準における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
1	曲想と旋律や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	◆ふるさと(共通教材)	○「ふるさと」を、旋律の流れやまとまり、歌詞との関わりを生かして二部合唱する。	【知・技-①】「ふるさと」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	旋律や音色などが生み出すよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	さようなら (ふるさと)	○「さようなら」を、曲の特徴を捉えて二部合唱する。 ○自分たちのイメージに合う表現を工夫して歌い合わせる。	【主-①】「さようなら」を、曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】「さようなら」の旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

6年 p.52～53

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 役割を決めて音階を もとにした音楽を つくろう (3時間扱い・3月)	(1) 音階や、フレーズのつなげ方や重ね方の特徴を、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	音階や、フレーズのつなげ方や重ね方の特徴を、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて理解している。			○	○
	(2) 音階や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。		思考・判断・表現	発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付けている。			○
	(3) 役割や音階の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、全音音階や黒鍵だけの五音音階に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度		役割や音階の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○

○＝本評価規準における中心的な項目

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』評価計画

6年 p. 54～55

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
〈ジャズとクラシック音楽の出会い〉 ラブソディー イン ブルー (2時間扱い・随時)	(1) 曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。				○
	(2) 旋律やリズム、音色、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見いだして聴く。	思考・判断・表現	旋律やリズム、音色、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見いだして聴いている。				○
	(3) ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ピアノとオーケストラによる音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○=本評価規準における中心的な項目